

奴^な国^{こく}かわらばん

第七号
令和五年四月十日

昨年の12月から開始した須玖岡本遺跡岡本山地区17次調査の結果を中心に、今までの岡本山地区の発掘調査の内容を紹介します。

一般成員の墓地

須玖岡本遺跡岡本山地区

須玖岡本遺跡の南部、熊野神社から南西側の一帯が岡本山地区です。奴国の丘歴史公園の一部もこれに含まれます。

同歴史公園には二つのドームがあり、その中には発掘（1・2・4次調査）された状態のままの甕棺墓などの弥生時代の墓地を見学することができます。甕棺墓は、成人のための大型甕棺の上に、小児等用の小型の甕棺が埋められており、密集しています。また、これらの甕棺からは副葬品はほとんど出ていません。



▲歴史公園内のドームと内部発掘調査された状態のままの甕棺墓を見学できる

調査成果から墓地は2000～2150年前頃のもので、副葬品がないことや、特に丁寧に埋められたものがないなど格差も見られないことから一般の人の墓地であることが分かりました。

熊野神社と岡本公園にも甕棺が

平成12年度に、熊野神社と岡本公園の発掘調査を行いました（8次調査）。熊野神社の横の崖面には甕棺が露出していたため、周辺部でも甕棺などが見つかることが考えられました。特に社殿が高まりの上にあるため、この高まりが人為的に造られた塚の可能性が考えられ、その中には弥生時代の有力者のお墓があることも期待されていました。

神社の周辺を調査した結果、高まりの周りには溝が弧を描いて巡ることが分かりました。溝は甕棺墓を壊して掘られており、古墳時代後期の土器が出土するため、古墳の周溝だと言うことが分かりました。つまり、社殿の下の高まりは、古墳時代に造られた円墳だったのです。

現在の岡本公園は平たく造成されていますが、周辺の地形や、昔を知る方の話から分析すれば2m前後削られた可能性があります。発

掘調査では甕棺墓が確認されましたが、かなり削られた状態で出土したため、2m前後削られていたことが裏付けられました。

また、弧を描く溝を検出し、その内側に数基の甕棺墓を検出しました。広い範囲を調査していないために断定はできませんが、この溝は、古墳の周溝ではなく甕棺墓を区画するための溝の可能性ががあります。そうすれば、内側には塚（墳丘）が作られていた可能性が考えられ、今後の調査に期待されます。



▶岡本公園の甕棺墓と溝（平成12年度調査）
溝の内側から数基の甕棺が出土した

須玖岡本遺跡岡本地区17次調査 弥生時代の集落を発見!!

令和4年12月12日～翌年3月10日まで岡本6丁目で発掘調査を行いました。令和3年度に行った地中レーダー探査の分析では地下に遺跡の反応が見られ、隣接地で見つかった甕棺墓などから、ここでも弥生時代の墓地が見つかるのではないかと考えていました。

発掘調査では、弥生時代の住居跡が3軒、大ぶりの穴が4基、小さな穴が多数と飛鳥時代の溝や穴などが検出されました。遺跡までの深さや時期、種類を確認することを目的とした調査のため詳細は分かりませんが、弥生土器や石の矢じり、飛鳥時代の土器や瓦、鉄の矢じりなどが出土しました。

甕棺は出土しませんでした。弥生時代や飛鳥時代の人が当地を生活空間として利用したことが明らかになり、須玖岡本遺跡全体を考える上で貴重な調査になりました。



▲出土した矢じり(上) 17次調査区全景(下)

弥生時代の青銅ルツボが出土!! 皇后峯を裏付ける発見?

17次調査では、青銅器生産に必要な青銅を溶かすためのルツボが出土しました。ルツボは、石で作られた鋳型などと違い再利用されることのないため、使われた周辺に捨てられます。今回、ルツボが出土したのは調査地点の高所。下から上に持ってきてわざわざ捨てたとは思えないため、上方から流れ込んだと考えられます。つまり、調査地の上方には青銅器を作る工房が存在したと考えられます。

弥生時代の青銅器工房は春日北小学校周辺の低地の遺跡が有名ですが、熊野神社に伝わる重要文化財の銅矛鋳型は、江戸時代に、現在はまだ見つかっていない高台で見つかったとされています。今回のルツボの発見は、皇后峯の地が分かった訳ではありませんが、丘陵の上で青銅器生産が行われたことを示しており、江戸時代の言い伝えを検証できる材料になりました。



▲17次調査出土のルツボ(上)
熊野神社銅矛鋳型(下)

2000年前の遺跡を体感 岡本地区17次調査で現地説明会

令和5年2月25日(土)、岡本地区17次調査の現地説明会がありました。訪れたのは老若男女35人。参加者たちは、発掘担当者の説明を熱心に聞いたり、受付に展示された出土品の土器や石器を手にとったりしながら質問をしていました。

さらに参加者の中には、説明を聞いた後も残り、遺跡を観察したり、触れたりしながら2000年以上前の遺跡に思いを馳せる人もいました。

現地説明会終了直後に雨が降り出し、説明会は好評のうちにも終わることができました。今後も現地説明会は続けていこうと考えています。



【問い合わせ先】春日市奴国の丘歴史資料館

Tel 092 (501) 1144
Fax 092 (573) 1077